



ご意見は次のeメールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp

phone : 072-878-3205

http://nagahata.jp

fax : 072-877-1194

こんにちは、市政報告です!

先月号は介護保険についてが中心でしたが、今月号もその関連で介護保険料と国民健康保険料の新聞記事から、また、他市や他国との比較について報告させていただきます。

「介護 & 国保保険料」について

1月4日の読売新聞朝刊に「介護・国保進まぬ広域化」の見出しで大阪の介護保険料と国民健康保険料の記事が載りました。その記事の中の知事と府内全43市町村長に行なった首長アンケートの結果が右表で、以下、記事の内容を一部引用します。

質問は、国民健康保険と介護保険について「大阪全域で一体運営し保険料も統一する都構想の方針についてどう考えるか」で、結果は全44首長の8割の37人が「統一すべきだ」と回答。大半の理由が、財政基盤の安定化と保険料格差解消。

65歳以上の介護保険料が府内で最も高い八尾市長は「負担が異なるのは不公平感がある」とし、大東市長は「累積赤字の自治体と黒字の自治体、収納率の違い等があり、うまく広域化できるか疑問」と回答。

- ：統一すべきだ
- △：ほかの対策がよい
- ：いずれも選択せず

各首長の「介護、国民健康保険の府域一体運営の是非」と、市町村の介護保険料	介護、国民健康保険の府域一体運営の是非	65歳以上の介護保険料(月額、円)
大阪府	○	—
八尾市	○	4979
松原市	○	4932
能勢町	—	4920
柏原市	○	4872
熊取町	○	4864
太子町	○	4862
堺市	○	4837
泉佐野市	○	4812
羽曳野市	○	4785
岬町	○	4785
泉南市	○	4782
大阪市	○	4780
千早赤阪村	○	4773
東大阪市	○	4768
和泉市	○	4717
河南町	○	4698
忠岡町	○	4673
守口市	○	4645
門真市	○	4645 (くすのき)
四條畷市	○	4645 (広域連合)
富田林市	○	4635
交野市	△	4625
岸和田市	○	4600
大東市	△	4500
枚方市	○	4483
貝塚市	○	4400
藤井寺市	○	4400
阪南市	○	4400
田尻町	—	4368
摂津市	○	4350
高石市	○	4302
豊中市	○	4260
吹田市	○	4257
寝屋川市	○	4240
河内長野市	○	4100
大阪狭山市	—	4057
池田市	○	4050
箕面市	○	4000
島本町	○	3960
豊能町	○	3929
茨木市	—	3877
高槻市	—	3840
泉大津市	○	3670

どちらにしましても「現状」と選択した首長はゼロで、現在の保険料額に満足されていないのがわかります。

また、表には65歳以上の介護保険料の月額も示されています。記事中の、くすのき広域連合(守口市・門真市・四條畷市)についての部分を以下に引用します。

65歳以上の保険料は月4645円と府内18番目の高さで、3市の総人口(約33万6000人)と同規模の吹田市(4257円)、高槻市(3840円)よりも高い。府介護担当課は「利用が増えると、給付総額が膨らみ、保険料は高くなる。給付と負担のバランスをどうするかは市町村の判断とする。

次に、守口市、門真市、四條畷市の3市は国民健康保険でも広域化を検討したが実現していない点も書かれています。その記事の主な内容はやはり保険料収納率の問題で、以下、記事の内容を一部引用します。

国保の保険料は自治体で計算方法も異なる。税控除後の給与所得200万円の親子4人世帯(10年度、年間)で比べると、守口市が46万4000円、門真市が42万4800円、四條畷市が38万9000円。四條畷市は3市の中で唯一、黒字運営で、保険年金課長は「合同運営で保険料が上がるのは受け入れられない」と話す。
なぜこれほど差が生じるのか。府国民健康保険課は「適正に保険料を設定し、きちんと徴収すれば赤字にならない」と言う。守口市の保険料収納率は、81.48%と3市の中で最も悪い。同課は滞納督促や不正請求のチェックに力を入れるが、保険課長は「国保の被保険者は自営業者や非正規労働者ら。不景気で納められない人が増えている」と反論する。

守口市以外の保険料収納率は記事にありませんが、門真市は82.78%、四條畷市は85.13%です。これは本市の職員が夜間徴収等で頑張っている成果だと思います。

ところで、前号で報告した介護報酬の地域区分ですが、今年1月16日付けで厚生労働省老健局老人保健課より修正案が示され“3年間の経過処置ですが”四條畷市や大東市は3%から10%、守口市と門真市は15%から10%へととなりました。・・・詳細は次号にて報告する予定です。

「市の財政健全性」について

一般財団法人アジア太平洋研究所（旧：関西社会研究所）が、2008並びに2009年度、全国780市の財政健全性を分析し、2011年12月16日に調査結果の概要を発表しました。その結果に基づいて本市の健全性を報告します。語句の説明も検査結果の概要から引用させて頂いています。

次の①②③の表ですが、細かい数字は省略した上で全国トップ3位に北河内7市を掲載しました。順位は全国順位です。

まず、基礎的経常収支の意味ですが、各自治体が建設事業を除く経常的な行政サービスの提供を、健全な財政運営に基づいて展開しているかどうかを示す指標です。この収支がプラスであれば、自治体はその建設事業に充当するか借入の返済にあてることが出来ます。しかし、自治体の歳入には国からの地方交付税が含まれ、その地方交付税を加えたままを表①の基礎的経常収支Ⅰとして表に示しています。（守口市は全国780市の後ろから5番目となっています。また、泉佐野市が780位で全国最下位、次に松原市が779位と続きます。）

また、この基礎的経常収支Ⅰから地方交付税を引いたものが表②の基礎的経常収支Ⅱとなります。あくまでも単年度の財政運営の余裕度ですが、順位が上位である程、借金返済などに回す余裕があると判断され、ゆえに自治体の財政が健全と言えます。（前年285位の四條畷市は、今回390位と大きく順位を下げています。）

次に、表③「非裁量的要因を考慮した財政評価」ですが、地方自治体の財政状況に影響を及ぼしていると考えられる環境要因を考慮したものです。基礎的財政収支から非裁量的要因（歳入面では1人当たり地方税、歳出面では65歳以上人口比率）を取り除き、各自治体が効率的な財政運営を行っているかどうかの評価が出来ます。この数字が市の経営努力度と直接結びつき、私はこの結果が一番重要と考えています。（前年700位の四條畷市は、今回554位

① 基礎的経常収支Ⅰ (単位:千円/人)

順位	都道府県	都市	収支Ⅰ金額	前年順位
1位	徳島県	三好市	264.14	4位
2位	岡山県	新見市	250.33	8位
3位	長崎県	対馬市	245.89	1位
564位	大阪府	交野市	49.48	676位
628位	大阪府	四條畷市	43.47	365位
669位	大阪府	門真市	38.85	771位
739位	大阪府	寝屋川市	28.70	765位
748位	大阪府	枚方市	27.33	766位
767位	大阪府	大東市	20.61	709位
776位	大阪府	守口市	9.90	774位

② 基礎的経常収支Ⅱ (単位:千円/人)

順位	都道府県	都市	収支Ⅱ金額	前年順位
1位	静岡県	御前崎市	123.82	2位
2位	静岡県	裾野市	115.19	8位
3位	三重県	亀山市	114.61	3位
228位	大阪府	交野市	16.20	299位
258位	大阪府	枚方市	10.15	295位
280位	大阪府	大東市	6.09	249位
318位	大阪府	門真市	-0.84	428位
378位	大阪府	寝屋川市	-11.23	413位
390位	大阪府	四條畷市	-13.04	285位
435位	大阪府	守口市	-22.22	382位

と順位を上げています。また、高齢化率も低く、努力すれば良くなる可能性のある市と言えます。

③ 非裁量的要因を考慮した財政評価

順位	都道府県	都市	地方税	高齢化率	財政評価	前年順位
1位	福岡県	八女市	92.45	28.97	6	375位
2位	岐阜県	瑞浪市	127.74	25.45	6	2位
3位	鹿児島県	阿久根市	80.84	34.55	6	10位
104位	大阪府	交野市	122.55	20.85	4	228位
345位	大阪府	寝屋川市	119.64	22.00	4	438位
423位	大阪府	枚方市	140.09	20.28	3	530位
464位	大阪府	大東市	139.81	20.26	3	584位
498位	大阪府	門真市	146.83	22.45	3	704位
554位	大阪府	四條畷市	122.39	19.88	3	700位
691位	大阪府	守口市	154.54	23.91	2	64位

「国の腐敗指数」について

iPhoneで電子書籍「住んでみた ①デンマーク 夏」を読むと、下記の表が紹介されていました。

内容は、ドイツのTRANSPARENCY INTERNATIONALと言うNGOが世界の国々の“公務員と政治家がどの程度腐敗しているか”の2009年度版に、2010年に米国の世論調査会社であるギャラップ社が発表した世界幸福度調査結果を組み合わせたものです。

腐敗認識指数については、最もクリーンな国が10点で、最も腐敗の進んでいる国が0点となっています。日本の腐敗認識指数について、上記のドイツNGOのHPを見ますと日本語での29ページにも及ぶレポートがあります。それを読みますと、政治家・官僚・財界の「腐敗した三角関係」は、日本における腐敗の特徴として確認することができる、とあり、この腐敗認識

順位	国名	腐敗認識指数	幸福度
1位	ニュージーランド	9.4	63%
2位	デンマーク	9.3	82%
3位	シンガポール	9.2	19%
	スウェーデン	9.2	68%
5位	スイス	9.0	62%
6位	フィンランド	8.9	75%
	ネザールランド	8.9	68%
8位	オーストラリア	8.7	62%
	カナダ	8.7	62%
	アイスランド	8.7	49%
11位	ノルウェイ	8.6	69%
12位	ホンコン	8.2	19%
	ルクセンブルク	8.2	45%
14位	ドイツ	8.0	43%
	アイルランド	8.0	49%
16位	オーストリア	7.9	57%
17位	日本	7.7	19%
	イギリス	7.7	54%
19位	アメリカ	7.5	57%

指数を上げるには、①法執行能力を強化すること、②腐敗のタイプに見合った対策を講じること、③情報公開を促進し、認知度を高めることとあり、特に、政治資金、天下り、談合の3つは喫緊に取組むべき課題と、厳しく報告されています。

幸福度については、日本の低さが目立ちます。逆に幸福度トップのデンマークは、直接税の平均が50%と高額で、それにプラスして25%の消費税がかかるので世界トップクラスの税金が高い国になっています。しかし、医療と教育は無料のように、社会保障はしっかりされており、また、有給休暇も最低5週間（国民はほぼ100%取得している）と法律で決まっている等、幸福度を上げている理由は多々あります。